六甲部各クラブ増員計画（20131019）

（敬称略）

		02－03	03－04	04－05	05－06	06－07	07－08	08－09	09－10	10－11	11－12	12－13	13－14	14－15	15－16	16－17	17－18	18－19	19－20	20－21	21－22		
六甲部	期首現在数（7月）	155	147	143	146	155	158	157	152	147	143	150	145	154	164	178	188	201	212	222	234		
	増員（＋）	17	15	17	20	12	15	13	11	7	12	12	8	20	28	20	26	22	20	24	20	94	180
	減員（－）	−25	−19	−14	−11	−9	−16	−18	−16	−11	−5	−17	0	−10	−14	−10	−13	−11	−10	−12	−10	−47	−90
	増減（±）	−8	−4	3	9	3	−1	−5	−5	−4	7	−5	8	10	14	10	13	11	10	12	10	47	90
	期末現在数（6月）	147	143	146	155	158	157	152	147	143	150	145	153	164	178	188	201	212	222	234	244		
	六甲部部長	松本	大野	上野	鈴木	長尾	大塚	山口	大田	安行	森	上野	山田	多胡									
		（さんだ）	（学園都市）	（芦屋）	（ポート）	（宝塚）	（神戸）	（西宮）	（神戸西）	（さんだ）	（学園都）	（芦屋）	（ポート）	（宝塚）	（神戸）	（西宮）	（神戸西）	（さんだ）	（学園都）	（芦屋）	（ポート）		
	EMC事業主査	丹羽	多胡	大塚	山口	宮田	酒谷	阪本	福原	斎藤	福田	鵜丹谷	小野										
		（ポート）	（宝塚）	（神戸）	（西宮）	（神戸西）	（さんだ）	（学園都）	（芦屋）	（ポート）	（宝塚）	（神戸）	（西宮）	（神戸西）	（さんだ）	（学園都）	（芦屋）	（ポート）	（宝塚）	（神戸）	（西宮）		

六甲部発足 ⇨ 西日本区大会 ⇨ 六甲部200キャンペーン 5か年計画 ⇨ 新六甲部200チーム 5か年計画（案） ⇨ ワイズ100周年

西日本区理事

ドロップが少なければ、増員が少なくても達成は可能。

★六甲部各クラブ過去10年間の増減傾向（2003年～2012年）

クラブ名	増員数		減員数		差引増減数	
	10年間	年平均	10年間	年平均	10年間	年平均
神戸	17	1.7	−18	−1.8	−1	−0.1
西宮	17	1.7	−16	−1.6	1	0.1
神戸西	13	1.3	−15	−1.5	−2	−0.2
神戸ポート	14	1.4	−10	−1	4	0.4
宝塚	24	2.4	−21	−2.1	3	0.3
さんだ	9	0.9	−16	−1.6	−7	−0.7
神戸学園都市	21	2.1	−24	−2.4	−3	−0.3
芦屋	21	2.1	−21	−2.1	±0	±0
合計	136	13.6	−141	−13.9	−5	−0.5
クラブ平均	17	1.7	−17.6	−1.76	−0.6	−0.06

＜傾向＞

・集計してみますと、メンバーを大幅に増加させて、しかもドロップを最小限に食い止めているクラブながらありません。各クラブとも特色がありますが、顕著なのは増員数の少ない「さんだクと減員数の少ない「神戸ポート」クラブです。この傾向は「A増員を図らなければメンバー数増えない」という現象と、一方「増員は少なくてもドロップを食い止めればメンバー数は減らない」という相反する減少が出ています。もちろん、増員を図り、ドロップを食い止めればそれに越したことはありません。しかし、メンバー数を増やして安定させる方法は一つではないことを表しています。クラブの特色に合った方法を研究してその努力をしていくことが、今後も要求されます。順番としては**①ドロップを食い止める**、**②増員を図る**、ということになりますが、その前に是非実行していただきたいのは、**「出席率の向上」**です。これは、例会の充実の基本ですし、一人でも今すぐ出来る方法です。多くのメンバーはお仕事や生活の中で、大変多忙な毎日を過ごしておられることは想像に難くないことです。その中でも工夫していただき、「ワイズのプライオリティー（優先度）をたった一段だけアップさせていただくことは可能ではないでしょうか。今すぐ行っていただきたいことは、皆様の予定表の中にまずワイズの例会のスケジュールを書き込んでいただくことです。そして皆様の出席率を向上い。その次にドロップを止めてから、ゆっくりと増員に掛かって下さい。増員は最後でいいのです。それも各メンバーが今年はたった「１人」の増員でいいのでで「１人」でも1年間で8人、10年では80人になります。出来ることから始めましょう。

＜増減の特色と対策＞

①増員◎＋減員×（増員が多いが、減員も多い） ⇨ **増員活動は現状のまま継続して、とにかくドロップを食い止めることに専心すること**

・宝塚クラブ、神戸学園都市クラブ、芦屋クラブ

②増員が少ない ⇨ **ある程度のドロップは致し方ないが、とにかく増員に専心すること。魅力ある例会作りと人脈の開拓に工夫**

・さんだクラブ

③減員が少ない ⇨ **増員活動に専心、ユースの発掘**

・神戸ポートクラブ

④増員も減員も少なく、現状維持 ⇨ **増員計画とドロップ阻止対策の両立が必要、魅力ある例会作りと出席率の向上に努力**

・神戸クラブ、西宮クラブ、神戸西クラブ

＜総合対策案＞ **「ドロップ」を食い止めよう！**

・EMC事業の充実には、会員数を増員させることは基本ですが、ここ10年間の六甲部8クラブの数字を見てみると、せっかく大きな増員を図っているのに全体数が
伸びていない。現状維持という便利な言葉で表現される結果でもあります。その理由は偏に**「ドロップ」**を留められないからに他ならない。ドロップにも色々理由があ
って一言では言い表せないのは事実です。従って、退会のアンケート結果を早急に分析して後日その対策を明確にしたいと思います。「ドロップ」を完全に止めるこ
とは不可能でしょうが、少しでもその数を少なくして、安定した成長に寄与したいのです。**「ドロップ」を止めることは必ずや成果につながると思われます。**それが**新「六甲部200」チーム**に託された使命でもあるのです。（2003－2012年度の10年間の増員数合計は**136名**である。しかし同時期のドロップ総数は**141名**にもな
り、増員数を上回っているのです。これでは200はおろか増加しないわけです。10年前の2003－03年度期末の六甲部全体の会員総数147名に136名

★六甲部各クラブ過去10年間の増減傾向（2003年～2012年）詳細

	年度	02－03	03－04	04－05	05－06	06－07	07－08	08－09	09－10	10－11	11－12	12－13	13－14	14－15	15－16	16－17	17－18	18－19	19－20	20－21	21－22		
神戸	期首現在数（7月）	23	20	19	20	22	24	22	20	21	20	21	19	22	23	25	26	27	29	30	31		
	増員（＋）	1	0	3	4	4	0	2	3	0	1	0	3	2	4	2	2	4	2	2	2	10	20
	減員（－）	−4	−1	−2	−2	−2	−2	−4	−2	−1	0	−2	0	−1	−2	−1	−1	−2	−1	−1	−1	−5	−10
	増減（±）	−3	−1	1	2	2	−2	−2	1	−1	1	−2	3	1	2	1	1	2	1	1	1	5	20
	期末現在数（6月）	20	19	20	22	24	22	20	21	20	21	19	22	23	25	26	27	29	30	31	32		
	会長	林	大塚	城	山口	森	森	河合	山口	鵜丹谷	鵜丹谷	進藤	進藤										
西宮	期首現在数（7月）	21	20	21	20	21	22	21	19	20	23	23	23	23	25	27	29	31	33	35	37		
	増員（＋）	2	2	1	2	1	3	1	2	3	1	1	0	4	4	4	4	4	4	4	4	16	32
	減員（－）	−3	−1	−2	−1	0	−4	−3	−1	0	−1	−1	0	−2	−2	−2	−2	−2	−2	−2	−2	−8	−16
	増減（±）	−1	1	−1	1	1	−1	−2	1	3	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	8	16
	期末現在数（6月）	20	21	20	21	22	21	19	20	23	23	23	23	25	27	29	31	33	35	37	39		
	会長	山口	岡田	足立	堀川	山本	小野	濵	浅野	馬場一	濵﨑	長井	堤一孝										
神戸西	期首現在数（7月）	19	15	15	15	13	14	13	13	12	10	12	13	13	14	15	16	18	19	20	21		
	増員（＋）	0	1	1	1	1	2	0	1	0	2	4	0	2	2	2	4	2	2	2	2	10	18
	減員（－）	−4	−1	−1	−3	0	−3	0	−2	−2	0	−3	0	−1	−1	−1	−2	−1	−1	−1	−1	−5	−9
	増減（±）	−4	0	0	−2	1	−1	0	−1	−2	2	1	0	1	1	1	2	1	1	1	1	5	9
	期末現在数（6月）	15	15	15	13	14	13	13	12	10	12	13	13	14	15	16	18	19	20	21	22		
	会長	黒崎	中野	宮田	野口	大田	大田	大田	加茂	野口	大田	大田	大田										

＜傾向と対策＞

・毎年のように退会者が出ている。まずはドロップを留める工夫が望まれる。高齢化も気になるところ。若返りの工夫を望む。今期は積極的な活動が見受けられる。例会の工夫により出席率の向上に期待。（メイクアップの利用）

＜傾向と対策＞

・時として大きなドロップがある。ここ数年は一進一退。例会の出席率は群を抜いているので、その勢いで例会の充実をに期待。合同例会や楽しい例会作りで友人をお誘いして下さい。

＜傾向と対策＞

・ここ数年の退会数に補充が追い付

・ここ数年の退会数に補充が追い付いていなかった。前期は大きな入会があったが同数程度が退会。オリエンテーションなどを充実させて、入会前後のフォローに期待。役割の分担や合同例会などで意識高揚に期待。例会の充実で特に出席率の向上、ヘキサゴンの機会の活用などで友人をお誘いしよう。（メイクアップの機会を増やして下さい）

	年度	02－03	03－04	04－05	05－06	06－07	07－08	08－09	09－10	10－11	11－12	12－13	13－14	14－15	15－16	16－17	17－18	18－19	19－20	20－21	21－22		
神戸ポート	期首現在数（7月）	16	14	13	13	15	14	17	18	17	17	19	18	19	20	22	23	25	26	27	29		
	増員（＋）	0	1	1	2	0	4	2	1	1	2	0	1	2	4	2	4	2	2	4	2	12	22
	減員（－）	−2	−2	−1	0	−1	−1	−1	−2	−1	0	−1	0	−1	−2	−1	−2	−1	−1	−2	−1	−6	−11
	増減（±）	−2	−1	0	2	−1	3	1	−1	0	2	−1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	6	11
	期末現在数（6月）	14	13	13	15	14	17	18	17	17	19	18	19	20	22	23	25	26	27	29	30		
	会長	鈴木	郡	石坂	細見	星加	大野	民谷	山崎	大野	大野	山田	佐野										

＜特徴と対策＞
・毎年退会者があるが、大きなものでないため、少な目の補充にも釣り合っている。07－08年の補充が効いて地道に向上してきて20名に後一歩のところまで来ている。例会の充実で更に飛躍が期待される。ユースの取り込みにより効果的な若返りを望む。

宝塚	期首現在数（7月）	20	21	21	21	19	19	20	23	20	19	24	24	24	26	28	30	32	34	36	38		
	増員（＋）	3	2	3	1	0	2	5	2	0	7	2	0	4	4	4	4	4	4	4	4	16	32
	減員（－）	−2	−2	−3	−3	0	−1	−2	−5	−1	−2	−2	0	−2	−2	−2	−2	−2	−2	−2	−2	−8	−16
	増減（±）	1	0	0	−2	0	1	3	−3	−1	5	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	16	32
	期末現在数（6月）	21	21	21	19	19	20	23	20	19	24	24	24	26	28	30	32	34	36	38	40	8	16
	会長	吉田	長尾亘	森田	若林	堀江	石田	多胡	長尾ひ	福田宏	山崎	長尾亘	石田										

＜特徴と対策＞
・毎年のように退会者があるのに、数年置きの「爆発的な」キャンペーンが功を奏して結果オーライ！
コンスタントな活動で安定した拡大を望む。例会の工夫が見られる。

さんだ	期首現在数（7月）	24	22	22	21	21	19	20	21	19	18	17	15	15	16	18	19	20	21	23	24		
	増員（＋）	1	2	1	1	0	2	2	1	0	0	0	0	2	4	2	2	2	2	2	2	10	18
	減員（－）	−3	−2	−2	−1	−2	−1	−1	−3	−1	−1	−2	0	−1	−2	−1	−1	−1	−1	−1	−1	−5	−9
	増減（±）	−2	0	−1	0	−2	1	1	−2	−1	−1	−2	0	1	2	1	1	1	1	1	1	5	9
	期末現在数（6月）	22	22	21	21	19	20	21	19	18	17	15	15	16	18	19	20	21	22	23	24		
	会長	西中	田中	酒谷	今井	中條	杉村	松本文	安行	森本	若林学	松本美	松本美										

＜傾向と対策＞
・毎年退会者が続いているが、ここ3、4年補充がない。コンスタントで安

定した対策が望まれる。例会の充実と、特に出席率の向上が急務。（メイクアップなどの工夫）

	年度	02－03	03－04	04－05	05－06	06－07	07－08	08－09	09－10	10－11	11－12	12－13	13－14	14－15	15－16	16－17	17－18	18－19	19－20	20－21	21－22		
神戸学園都市	期首現在数（7月）	18	20	19	21	23	24	23	20	20	18	17	17	18	19	21	22	24	25	26	28		
	増員（＋）	4	4	4	5	2	1	0	1	1	0	3	1	2	4	2	4	2	2	4	2	12	22
	減員（－）	−2	−5	−2	−3	−1	−2	−3	−1	−3	−1	−3	0	−1	−2	−1	−2	−1	−1	−2	−1	−6	−11
	増減（±）	2	−1	2	2	1	−1	−3	0	−2	−1	−3	1	1	2	1	2	1	1	2	1	6	11
	期末現在数（6月）	20	19	21	23	24	23	20	20	18	17	17	18	19	21	22	24	25	26	28	29		
	会長	合田	杉本	佐伯	阪本	藤井	金田	中村	阪本	森	杉本	佐伯	佐伯										

＜傾向と対策＞

・02－06年度の華々しい成果に守られてきたが、ここ数年大きな増員がない。20周年記念を迎えて、その活動をEMCに生かして、ユース、ウェルネスからの取り込みに期待。

芦屋	期首現在数（7月）	16	16	14	16	19	22	21	18	17	17	17	16	19	20	21	22	23	24	25	26		
	増員（＋）	6	3	3	4	4	1	1	0	2	1	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	8	16
	減員（－）	−6	−5	−1	−1	−1	−2	−4	−1	−2	−1	−3	0	−1	−1	−1	−1	−1	−1	−1	−1	−4	−8
	増減（±）	0	−2	2	3	3	−1	−3	−1	0	0	−1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	4	8
	期末現在数（6月）	16	14	16	19	22	21	18	17	17	17	16	19	20	21	22	23	24	25	26	27		
	会長	岡本	町永	渡邊	大塚	大塚	柏原	柏原	飯田	桑野	都筑	島田	羽太										

＜傾向と対策＞

・クラブ黎明期の多くの出入りが落ち着いてきたが、ここ数年一進一退。15周年記念講演会を公開にして、会員獲得に成果があった。この成果を生かして、更に大きな山（20名以上）を越えて頂きたい。